

行政視察等報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 藤岡 雅哉

令和7年7月2日下記のことについて、調査を行ったので、概要について報告いたします。

下記に☑

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 総務文教常任委員会行政視察 | <input type="checkbox"/> 議会運営委員会行政視察 |
| <input type="checkbox"/> 市民福祉常任委員会行政視察 | <input type="checkbox"/> 議会改革検討特別委員会行政視察 |
| <input type="checkbox"/> 建設経済常任委員会行政視察 | <input type="checkbox"/> やいづ市議会広報特別委員会行政視察 |

視察先	自治体・公共 Week2025：自治体 DX 展／スマートシティ推進 EXPO 地方創生 EXPO／地域防災 EXPO／地域福祉 EXPO
視察の目的	焼津市の行政課題解決に資する可能性のあるサービス・システムの視察を行い、各分野における導入可能性と期待される効果を研究するため

視察で確認できたこと：視察したブース：約 42 名刺交換 32 名
視察ブース中、焼津市における行政課題の参考となるソリューション及びサービスは以下 14 件で、紹介先に想定している担当課を明記し順次訪問する。

◆ 公共交通分野：道路課

1 定額乗合タクシー「TAKUZ」

株式会社バイタルリード（島根県出雲市）担当者：三宅氏

サービスの特徴

交通空白地域におけるライドシェアサービスで、「三方よし」の仕組みを実現している。利用者はドア・ツー・ドアのサービスを受けられ、事業者は月額固定収入により安定収益を確保でき、自治体は既存のバスやタクシーと競合することなく補助金削減も図れる。

焼津市の課題と導入可能性

現在のデマンドタクシーは停留所が限定されており、ドア・ツー・ドアサービスの実現が課題
タクシー事業者不足と未就業者の社会貢献を両立させるライドシェアシステムの検討が必要
交通空白対策の成功事例セミナーのアーカイブ動画による事前学習が可能

◆ 観光分野：商工観光課

1 人流ビッグデータ分析「BeaconBank」

株式会社ウネリー（港区虎ノ門）担当者：笹本氏

サービスの特徴

2019 年から蓄積している人流データを期間と場所で提供可能。人の回遊パターン、年齢層、性別、国籍などの詳細な分析データを提供する。

焼津市の課題と活用可能性

イベント企画において、想定した地域・年齢層の来場状況や期待した回遊の実現状況を分析する手段が十分かを確認した上で、過去のイベントデータのサンプル提供により、効果的な企画立案が可能
集客数と売上だけでなく、質的な成果測定の実現

2 重ね捺しスタンプラリー

シャチハタ株式会社 担当者：櫻井氏

サービスの特徴

角型スタンプ5個を使用し、元絵を5版に分けて5回のスタンプラリーで完成させる仕組み。完成まで絵が判明せず、版画のような高品質で従来のスタンプラリーより高級感がある。

焼津市の課題と活用可能性

市内イベントや目的を持った回遊促進への有効活用が期待される

標準価格：税込約50万円（イベント経費での対応可能性要検討）

◆ 市民対応・多文化共生分野：市民課・シティセールス課・DX推進課

1 外国人向け窓口専用機「VoiceOn」

株式会社 IP DREAM 担当者：跡部氏

サービスの特徴

市民窓口への専用機設置により、日本語を含む21言語での対面やり取りが可能。文字入力・音声入力対応、定型文登録機能付き。

焼津市の課題と活用可能性

市民の対応窓口が多い2階に設置することで複数部門での共有利用が可能

定型文事前登録による対応時間短縮

テスト貸出による事前検証の実施を推奨

2 やさしい日本語変換「伝えるウェブ」

アルファサード株式会社

サービスの特徴

ウェブサイトを自動でやさしい日本語に変換（漢字へのフリガナ付与、難しい語句の平易化など）。他自治体での導入事例も豊富。

焼津市の課題と活用可能性

多言語対応に加え、ある程度日本語が理解できる外国人や障害者への情報発信強化が可能

多文化共生と障害福祉の両分野へ貢献できる

焼津市 HP アドレス入力による簡易サンプル表示が可能

3 マイナンバーカード活用「LoCoPi」

株式会社博報堂

サービスの特徴

マイナンバーカードとLINEを活用した市内施設訪問記録、施設利用ポイント付与、子どもやシニア見守り機能、地域通貨との連携。

焼津市の課題と活用可能性

マイナンバーカードの身分証明・保険証以外の利用促進

既存の健康マイレージシステムとの連携検討

図書館・歴史民俗資料館・スポーツ施設等へのタッチスポット設置

DX推進課との連携による利用拡大戦略の検討

◆ **空き家対策：建築住宅課・地域福祉課**

1 実家相談窓口「じつまど」

マークライフ株式会社 担当者：武田氏

サービスの特徴

空き家保有高齢者の不安解消と相談窓口の一元化。ヒアリング後の適切なサービス案内、事故物件・農地等の法律・相続・清掃・リフォーム等への総合的相談対応。

焼津市の課題と活用可能性

事後対応ではなく、空き家化予防対策の実現

法律・土地取引・相続等の専門知識を要する相談への安心対応

自治体が紹介することによる市民の安心感向上と放置空き家の未然防止

重層的支援体制整備事業への連携可能性

◆ **防災分野：地域防災課・地域福祉課**

1 自治体向け防災カタログギフト「RING BELL SONAE」

サービスの特徴

3,000円・5,000円・10,000円の3コース設定。自治体が世帯ごとにポイントを付与し、全世帯にカタログギフトを配布。導入実績：世田谷区、板橋区、文京区、狛江市等。

焼津市の課題と活用可能性

在宅避難推奨・7日間備蓄推奨政策との整合性

各家庭の備蓄率向上への大きな効果が期待

市民の防災意識向上と実践的備蓄の促進

2 個別避難計画デジタル化「個別避難計画 DX」

株式会社パソナ 担当者：水野氏

サービスの特徴

個別避難計画のデジタル化により、新規作成・更新の効率化を実現。災害時には支援者への要請直接送信、複数支援者によるリアルタイム対応確認が可能。

焼津市の課題と活用可能性

現在の紙ベース個別避難計画からのデジタル化による大幅な効率向上

支援者範囲の拡大（家族・親族・近隣から消防団員等まで）

柏崎市の要支援者名簿作成フローとの統合による全体最適化

◆ **介護・福祉分野：介護保険課・障害福祉課**

1 介護認定審査会資料効率化「aiezmask」

株式会社 NTT データ・アイ

サービスの特徴

介護認定資料のタブレット入力から審査会資料の自動マスキングまでを一元化し、業務効率化を図る。

焼津市の課題と活用可能性

現行の介護認定審査業務フローの調査を前提とするが、システム化による工数削減効果のシミュレーションにより、大幅な工数及びコスト削減の可能性を秘める

2 バリアフリー情報地図表示サービス

株式会社テクノプロジェクト 担当者：持田氏

サービスの特徴

自治体保有のバリアフリー施設情報を地図上に表示するサービス

焼津市の課題と活用可能性

既存の「スマートマップやいづ」プラットフォームとの連携を検討したい

レイヤー選択によるバリアフリー情報表示機能の追加

本サービスとの直接連携ではなく、既存システムの機能拡張による対応

3 高齢者の認知機能を高める脳トレ「KUMONの脳トレ」

株式会社公文教育研究会

サービスの特徴

短時間で取り組む「脳トレ」と月1回の脳年齢測定で認知機能を高める

焼津市の課題と活用可能性

高齢者のフレイル予防は「ころばん体操」他、身体の機能回復は取組んでいるが、脳の機能低下防止は不十分である可能性があり、検討の余地はないか

無料の「あたまの健康セミナー」も依頼できるので、一度試してみる価値があるのではないか

◆ 施設管理：公有財産課

1 包括施設管理サービス

株式会社 JM 担当者：森下氏

サービスの特徴

市役所、文化センター、消防機材、児童センター、福祉センター、学校、地域交流センター等の包括的管理による情報一元管理と職員負担軽減。

焼津市の課題と活用可能性

現行の公有財産管理体制の詳細調査

各施設の個別委託から包括契約への移行効果

職員工数削減と外注費削減の定量的評価

◆ 児童施設：子育て支援課

1 子育て施設への遊具提供「キッズスペース」

株式会社アネビー

サービスの特徴

幼児教育先進のヨーロッパ「ハグス社」「ハバ社」の遊具を提供

焼津市としての視点

市内複数個所の子育て支援センターに導入することで、幼児が安心して先進的な遊具に触れる事ができるのではないか

総括：今回の視察により、焼津市の各分野における課題解決に資する多くの先進的なサービス・システムを確認することができた。本視察で得た新たなサービスを話題とした担当課との意見交換により、市民サービスの向上や業務生産性の向上について改善策を共に検討していく考えである。